デロイト トーマツ サービシーズを志す、学生の皆さんへ

代表取締役社長：宇井　利安

■ 宮城県を拠点に、デロイト トーマツ サービシーズの事業をさらに広げ、デロイト トーマツ グループの成長に貢献することを目指しています

皆さんが達成感や充実感を感じる瞬間はどんな場面でしょうか。もしそれが、人をサポートして喜んでもらえたり、相手の活躍を支える縁の下の力持ちとしての役割に喜びを感じる場面であれば、ぜひデロイト トーマツ サービシーズを就職先の選択肢としてご検討ください。

デロイト トーマツ サービシーズはデロイト トーマツ グループのコーポレート機能として、グループ会社の事務オペレーションを担っています。2016年より仙台市に拠点を置き、グループ会社の成長とともに、業務を拡大してきました。今後はさらにシェアードサービスの需要拡大を捉え、デロイト トーマツ サービシーズの事業を拡大していきたいと考えております。

シェアードサービス需要拡大の背景には、企業内で統一されていなかった社内手続きやルールを統一化し、効率化を図る動きがあります。近年、間接業務をシェアードサービスへ委託するケースが増加しており、こうした流れを受け、実際に宮城県もコールセンターや事務センターの立地拠点として注目されています。

実際に、デロイト トーマツ グループから受託する業務は年々増加しています。私たちは、組織として着実に成長のステップを踏みながら、拡大する需要にしっかりと応えていきたいと考えています。今後は、グループ各社からの受託業務をさらに積極的に推進するだけでなく、デロイトグローバル（海外グループ企業）との協業を通じて、日本国内にとどまらず、サービスのさらなる拡大を目指していきます。

■ 成長を支える社職員の皆さんが安心して働ける、環境づくりを目指します

デロイト トーマツ サービシーズは、社職員が仕事に専念できるよう、「安定した事業基盤」と「柔軟な働き方」を提供しています。当社の顧客はグループ会社であるため、業務や雇用は非常に安定しており、全世界約45万人、国内約2万人というグループの成長が事業の土台となっています。この安定した環境のもと、社職員の皆さんは安心して仕事に取り組み、長期的なキャリア形成を目指すことができます。

「柔軟な働き方」については、制度紹介でもご案内している通り、多様な価値観やライフイベントに応じてキャリアを築ける仕組みが整っています。在宅勤務や介護、子育て、不妊治療など、さまざまなライフイベントを理由とした軽減勤務制度も利用可能です。キャリアとプライベートの両立を支援する環境が整っており、働いている間だけでなく、キャリアの節目にも安心していただけるよう、会社としてサポート体制の充実に努めています。
また、女性の活躍も進んでいるため、管理職の約6割が女性であることも特徴のひとつです。

■ デロイト トーマツ サービシーズは、会社の変化を牽引するリーダー人材・イノベーション人材を求めています

デロイト トーマツ サービシーズの新卒採用は、将来の管理職を見据えるリーダー人材と、ITの導入やプロセス改善を通して業務やチームに新たな変革をもたらすイノベーション人材との出会いを目的としています。キャリアのスタートは実務の習得から始まりますが、十分な準備期間を経て、チーム運営や事務オペレーションの品質管理、業務効率化など、幅広い業務を経験しながら、着実にキャリアアップしていただきたいと考えています。

また、ITによる自動化や業務改善の推進などを通じて、社会の変化に対応する取り組みをリードしていただくことも期待しています。先頭に立って活躍するためには、柔軟性、好奇心、成長意欲が不可欠です。こうした姿勢を持ち、自ら積極的に仕事に取り組み、周囲を良い方向へと巻き込んでいくことを期待しています。

■ 時間と仕事はスマートに、時には目標に向かって泥臭く

数年前までは、「どう時間を使うか」が仕事で最も大切だとされていました。長時間労働が当たり前の環境では、成果を出すために労力も時間も惜しまず投入し、「成果を出すまでにかかった時間」はあまり重視されませんでした。

しかし現在は、社会の変化に伴い、企業に求められるものが「いかに効率よく仕事をするか」へと変化しています。根性論や長時間労働で課題を解決してきた時代から、限られた時間と場で効率よく成果を上げることが求められるようになりました。

私自身、泥臭く働いてきた世代だからこそ、今は"スマートな働き方"の実現が不可欠であると強く感じています。ただし、スマートな働き方を実践しながらも、仕事への情熱や責任感、自己啓発に取り組む姿勢は、時代が変わっても持ち続けてほしいと考えています。そういった価値観を共有できる学生の皆さんとの出会いを楽しみにしております。

DTSの歩み

● デロイト トーマツ サービシーズは2016年にメインオフィスを宮城県仙台市に移転

デロイト トーマツ サービシーズは、2016年に名古屋から仙台へメインオフィスを移転しました。この背景には、シェアードサービス機能の地方都市への移転のほかに、震災復興への支援として、東北・宮城に雇用を創出する目的がありました。東日本大震災当時、デロイト トーマツ グループとして多くの復興支援に携わったビジネスリーダーたちが、業務拡大フェーズを迎えたタイミングで、仙台にメインオフィスを置くことを決断しました。移転から約10年が経過し、現在は仙台・名古屋・東京を拠点に300名を超える人員となっております。

採用ページへ戻る